

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	外国人登録事務協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	市民部	課長名 緒田 恵子
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	市民課	担当者名 山形 美穂
	基本事業	86	市民サービスの向上	所属班	市民窓口班	(内線) 1114
				法令根拠	外国人登録事務協議会事務規則	

予算科目	会計 1	款 2	項 3	目 1	事業連番 11087	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	4
								コスト削減優先度評価結果	9

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 S53 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
 ・外国人登録及びこれに関連する法令の調査研究  
 ・外国人登録事務に関する連絡  
 ・研修会の開催及び会員の表彰  
 ・その他必要な事業

**【業務の流れ】**①負担金の納入②協議会、研修会への参加③文書、資料の作成。  
**【主な予算費目】**①旅費(特別旅費)②需用費(消耗品)③負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	・20年度と同じ
・外国人登録事務に関する研修により知識を習得した。		
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
		→ ア 総会、研修会の回数 回
		イ 相互の連携回数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・熊本県内の外国人登録事務に関係する市町村長と職員。		→ ア 会員数 人
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・事務の改善と会員相互の連携を強化する。		→ ア 知識を身につけた職員の割合 %
・外国人登録制度や実務に関する幅広い知識を身につける。		イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
・満足度の高いサービスを受ける。		→ ア 窓口サービス等の苦情等件数 件数
		イ 窓口サービス等の苦情等件数 点数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0  1 40 159 159	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	95	41	41	54	55	55		55
	(A) 事業費計	千円	95	41	41	54	55	55	55		
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	6	1	1		1
	延べ業務時間	時間	40	40	40	87	40	40	40		
	(B)人件費計	千円	159	159	159	346	159	159	159		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	254	200	200	400	214	214	214		
活動指標	ア 回数	件	2	2	2	4	2	2	2	目 標 合 計 数 計 値 画  22 年 度	
	イ	件	5	5	5	1	5	5	5		
対象指標	ア 人		48	48	48	96	47	47	47		
	イ										
成果指標	ア %		0	0	0	100	100	100	100		
	イ										
上位成果指標	ア 件数	点数	8	6	1	2	1	1	1	1	
	イ	点数	4.25	4.22	4.35	4.21	4.4	4.5	4.5	4.5	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 ・外国人登録事務に関係する市町村の連携強化

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・20年度の振り返りを踏まえて、成果指標を変更した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 ・特になし

事務事業名	外国人登録事務協議会参画事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・研修に参加し、外国人登録事務に必要な情報の収集、意見交換、協議をすることにより、職員の外国人登録事務業務についての資質の向上を図っている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・法定受託事務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・法定受託事務であり、事業の限定・拡充は不可能である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・事務処理向上に役立っている。 ・成果指標を知識を習得した割合に変更した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・全市町村で行なわれている研修等であり休止等することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・法定受託事務の資質向上のためであり、類似事業はない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・法定受託事務の事務処理向上のためであり必要な事業であり削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・法定受託事務の事務処理向上のためであり縮小することはできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・適正な職員が研修をすることで、適正な登録事務が行なえ公正・公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )